

令和6年度 松戸市学校教育指導方針

生きる力を育む

確かな学力

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり
- ・実態分析による学力に関する課題の把握・分析
- ・グローバル社会に対応できる児童生徒の育成を目指した授業改善（言語活用科の推進）
- ・ICTを効果的に活用した授業の推進
- ・総合的な学習の時間における探究活動の推進
- ・学校図書館の充実

思いやりのある豊かな心

- ・教育活動全体を通じた人権教育及び情報モラル教育の充実
- ・多様性を理解し、自他を尊重することができる児童生徒の育成
- ・学校生活アンケートやWEBQU調査の活用により安心して学べる学級づくりの充実

健やかな体

- ・体力向上、生涯スポーツにつながる学校体育の充実
- ・「自分のいのち・健康は自分で守る」力の育成
- ・「食に関する指導」の充実

特色ある学校づくり

子供たちのためのよりよい教育システムづくり

- ・個々の教育的ニーズに応えられる、切れ目のない支援体制の構築
- ・まつど日本語指導システムの改革（「にほんごルーム」の充実）
- ・幼児教育と小学校教育の学びをつなぐための連携・情報共有
- ・子供たちのための「新たなスポーツ・文化環境」の整備

組織マネジメントを生かした自律的学校経営

- ・実態に即した特色ある教育課程の編成
- ・学校派遣人材の効果的な活用
- ・校務のDX化
- ・小中連携の強化と「チーム学校」としての学校づくり
- ・学校と地域双方のアプローチによる連携の推進

魅力ある市立松戸高校づくり

市松改革の推進

- ・第二外国語（中国語・スペイン語）授業の推進
- ・大学進学サポート体制の充実（個別最適化）
- ・「改革プラン」の推進を支える ICT環境整備